

工 帶 付

道路掘削跡路面復旧工（その1）

神戸市市道

※加熱アスファルトは再生アスファルトを使用

復旧工種		復旧構造		適用基準	
呼称	工種及び施工厚	影響部	掘削部	歩車道区分	在来舗装の種類
1号工	アスファルト・セメントコンクリート舗装 施工厚 48cm	5I	5 表層工：密粒度7mm 最大粒径 (20)N6交通 (13)N3,N4,N5交通 23 基層工：セメントコンクリート (曲げ強度4.5N/mm ²) 20 路盤工：粒度調整砕石 再生粒度調整砕石 (10cm×2層仕上げ)	車道	アスファルト舗装
2号工	アスファルト舗装 施工厚 60cm	5I	5 表層工：密粒度7mm 最大粒径 (20)N6交通 (13)N3,N4,N5交通 33 基層工：粗粒度7mm (5cm×2層仕上げ) 45 路盤工：粒度調整砕石 10cm×4層仕上げ 再生粒度調整砕石 5cm×1層仕上げ	車道	アスファルト舗装
2-2号工	排水性アスファルト舗装 施工厚 60cm	5I	導入パイプφ20程度 5 表層工：排水性7mm 5 基層工：粗粒度7mm (5cm×2層仕上げ) 45 路盤工：粒度調整砕石 10cm×4層仕上げ 再生粒度調整砕石 5cm×1層仕上げ	車道	排水性舗装
特2号工	アスファルト舗装 施工厚 65cm	5I	5 表層工：密粒度7mm 最大粒径 (20)N7交通 (13)N3,N4,N5交通 5 基層工：粗粒度7mm (5cm×3層仕上げ) 45 路盤工：粒度調整砕石 10cm×4層仕上げ 再生粒度調整砕石 5cm×1層仕上げ	車道	アスファルト舗装
特2-1号工	排水性アスファルト舗装 施工厚 65cm	5I	導入パイプφ20程度 5 表層工：排水性7mm 5 基層工：粗粒度7mm (5cm×2層仕上げ) 45 路盤工：粒度調整砕石 10cm×4層仕上げ 再生粒度調整砕石 5cm×1層仕上げ	車道	排水性舗装
3号工	アスファルト舗装 施工厚 30cm	5I	5 表層工：密粒度7mm 最大粒径 (13)N3,N4交通 5 基層工：粗粒度7mm 20 路盤工：粒度調整砕石 再生粒度調整砕石 (10cm×2層仕上げ)	車道	アスファルト舗装
特3号工	アスファルト舗装 施工厚 35cm	5I	5 表層工：密粒度7mm 最大粒径 (13)N3,N4,N5交通 5 基層工：粗粒度7mm (5cm×2層仕上げ) 20 路盤工：粒度調整砕石 再生粒度調整砕石 (10cm×2層仕上げ)	車道	アスファルト舗装
特3-1号工	排水性アスファルト舗装 施工厚 35cm	5I	導入パイプφ20程度 5 表層工：排水性7mm 5 基層工：粗粒度7mm (5cm×2層仕上げ) 20 路盤工：粒度調整砕石 再生粒度調整砕石 (10cm×2層仕上げ)	車道	排水性舗装

復旧工種		復旧構造		適用基準	
呼称	工種及び施工厚	影響部	掘削部	歩車道区分	在来舗装の種類
4号工	アスファルト舗装 施工厚 25cm	5I	5 表層工：密粒度7mm 最大粒径 (13)N3交通 20 路盤工：粒度調整砕石 再生粒度調整砕石 (10cm×2層仕上げ)	車道	アスファルト舗装
5号工	アスファルト舗装 施工厚 5cm		5 表層工：細粒度7mm	歩車道	歩車道各種舗装
6号工	セメントコンクリート舗装 施工厚 45cm	5I	25 表層工：セメントコンクリート (曲げ強度4.4MPa) 20 路盤工：粒度調整砕石 再生粒度調整砕石 (10cm×2層仕上げ)	車道	セメントコンクリート舗装
7号工	セメントコンクリート舗装 施工厚 30cm	5I	15 表層工：セメントコンクリート (曲げ強度4.4MPa) 15 路盤工：粒度調整砕石 10cm×1層仕上げ 再生粒度調整砕石 5cm×1層仕上げ	車道	セメントコンクリート舗装
8号工	歩道コンクリート平板舗装 施工厚 14cm		6 表層工：コンクリート平板700 2 据付材K(1:3)：目地材K(1:2) 6 基礎工：コンクリート (18-8-20)	歩道	コンクリート平板舗装 点字平板
8-1号工	歩道平板ブロック舗装 施工厚 19cm	5I	6 表層工：コンクリート平板ブロック 3 敷砂 10 路盤工：粒度調整砕石,再生砕石等	歩道	歩道コンクリート平板舗装 (透水性)
8-2号工	歩道透水性平板ブロック舗装 施工厚 24cm	5I	6 表層工：コンクリート平板ブロック 3 敷砂 10 路盤工：粒度調整砕石,再生砕石等 透水性シート 5 フィルター層 (砂)	歩道	歩道コンクリート平板舗装 (透水性)
9号工	歩道タイル舗装 施工厚 22cm	5I	3 表層工：タイル 2 据付材K(1:3)：目地材K(1:2) 7 基礎工：コンクリート (18-8-20) 10 路盤工：粒度調整砕石,再生砕石等	歩道	歩道タイル舗装
9-1号工	歩道透水性 インターロッキングブロック舗装 施工厚 24cm	5I	6 表層工：インターロッキングブロック 3 敷砂 10 路盤工：粒度調整砕石,再生砕石等 透水性シート 5 フィルター層 (砂)	歩道	歩道インターロッキング舗装

道路掘削跡路面復旧工（その2）

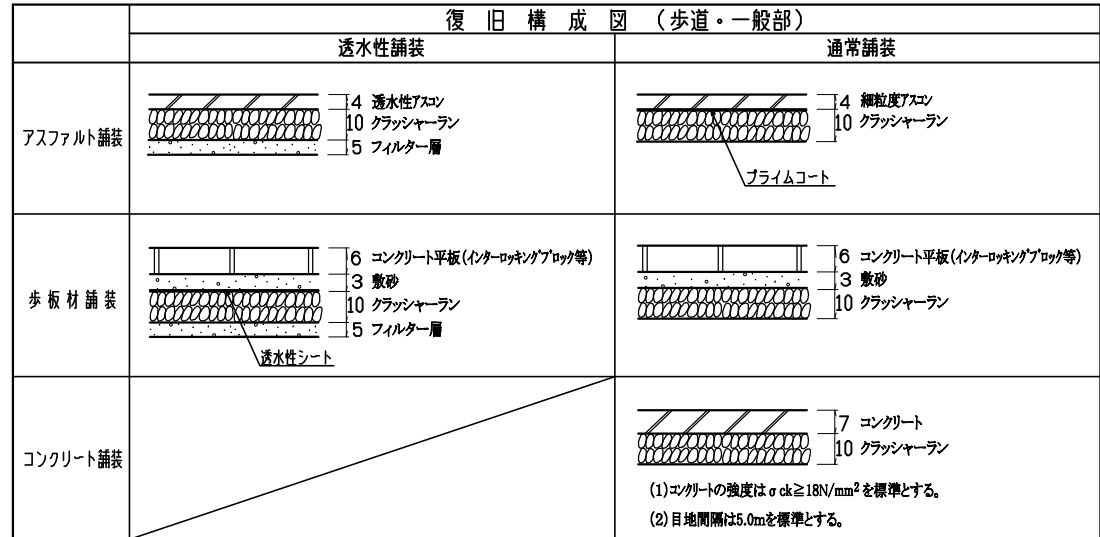
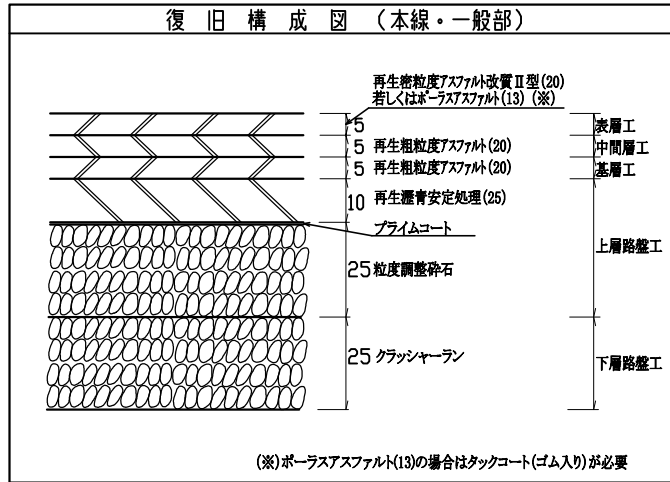
神戸市市道

※加熱アスファルトは、国庫補助工事を含め、下水道汚泥焼却灰入りアスファルトを使用。
（下水道汚泥焼却灰入りアスファルトが使用できない場合、再生アスファルトを使用。）

復旧工種 呼称	工種及び施工厚	復旧構造		適用基準	
		影響部	掘削部	歩車道区分	在来舗装の種類
9-2号工	歩道インターロッキング舗装 施工厚 19cm		6 表層工：インターロッキングブロック 3 敷砂 10 路盤工：粒度調整砕石,再生砕石等	歩道	歩道インターロッキング舗装
10号工	歩道アスファルト舗装 施工厚 14cm		4 表層工：細粒度アスファルト（歩道用） 10 路盤工：粒度調整砕石,再生砕石等	歩道	アスファルト舗装
10-1号工	歩道アスファルト舗装 施工厚 19cm		4 表層工：開粒度アスファルト（歩道用） 10 路盤工：粒度調整砕石,再生砕石等 5 フィルター層（砂）	歩道	透水性歩道アスファルト舗装
11号工	砂利道 施工厚 9cm		9 切込砕石（カマキリ）,再生砕石等	車道	砂利道 植栽帯
11-1号工	植栽帯 施工厚 50cm		50 植栽帯：真砂土	車道	植栽帯
12号工	路床補強 施工厚 30cm		※別途工種にて施工 30 切込砕石（カマキリ）,再生砕石等	歩車道	
13号工	街渠工		縁石ブロック（15～17×20×60cm） ヒトコノカット（18～8～20） 基礎工：再生砕石（径40～0mm）	街渠	街渠 L型 U型 石積側溝
特殊 A号工	カラー舗装 施工厚 3cm		3 表層工：カラーアスコン（セラサンド）	車道	カラー舗装 （ポリマー）
特殊 B号工	塗布式カラー舗装 施工厚 1～2mm		0.1～0.2 着色結合材：エポキシ樹脂EP-N 骨材：着色硬質骨材	車道	塗布式カラー舗装 （学校周辺カラー）
特殊 C号工	すべり止め舗装 施工厚 2cm		2 摩耗層：ニッケルスラグアスコン	車道	すべり止め舗装
白線	反射ビーズ入り溶融式 施工厚 1.5mm		0.15 厚1.5mm,幅15cm 反射 ビーズ入り溶融式	車道	アスファルト舗装 又は ヒトコノカット舗装

道路掘削跡路面復旧工（その3）

一般国道（2号線，43号線，175号線）



(単位:cm)

車種	復旧構成図（歩道・乗り入れ部）							
	アスファルト舗装			歩板材舗装			コンクリート舗装	
	密粒度	粗粒度	クラッシャーラン	ブロック	砂	クラッシャーラン	コンクリート	クラッシャーラン
I種 乗用・小型 貨物自動車	5		25	6	3	25	15	10
II種 普通 貨物自動車等	5	5	25	8	3	35	20	20
III種 大型及中型 貨物自動車等	5	10	30	8	3	55	25	25

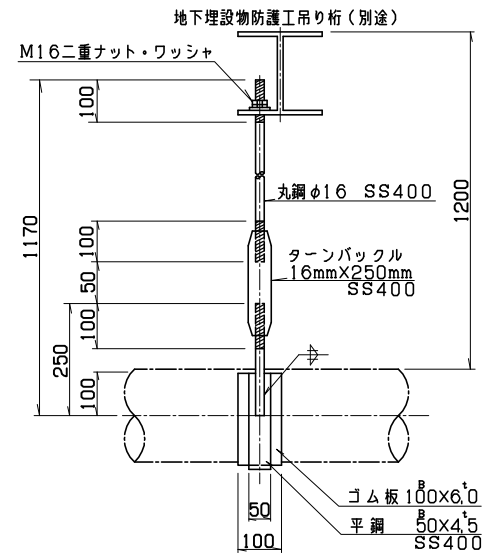
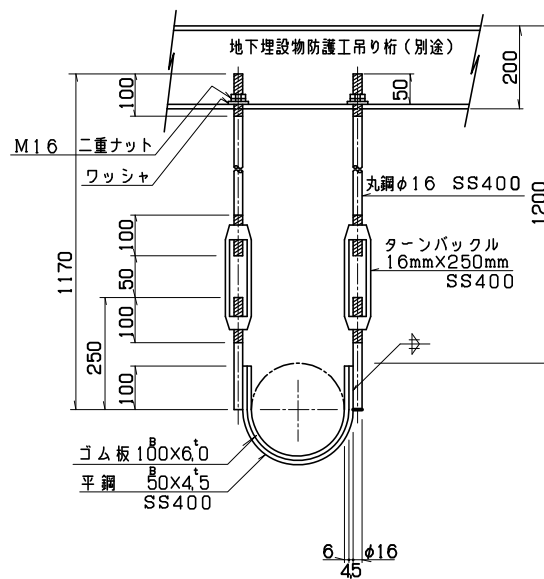
注) 上記は舗装計画交通量3,000台/日・方向以上、CBR8 時のものである。

復旧前に復旧範囲及び復旧工法を管理者と協議すること。

注) 施工は、舗装の構造に関する技術基準（平成13年）による。

地下埋設物防護工（その1）

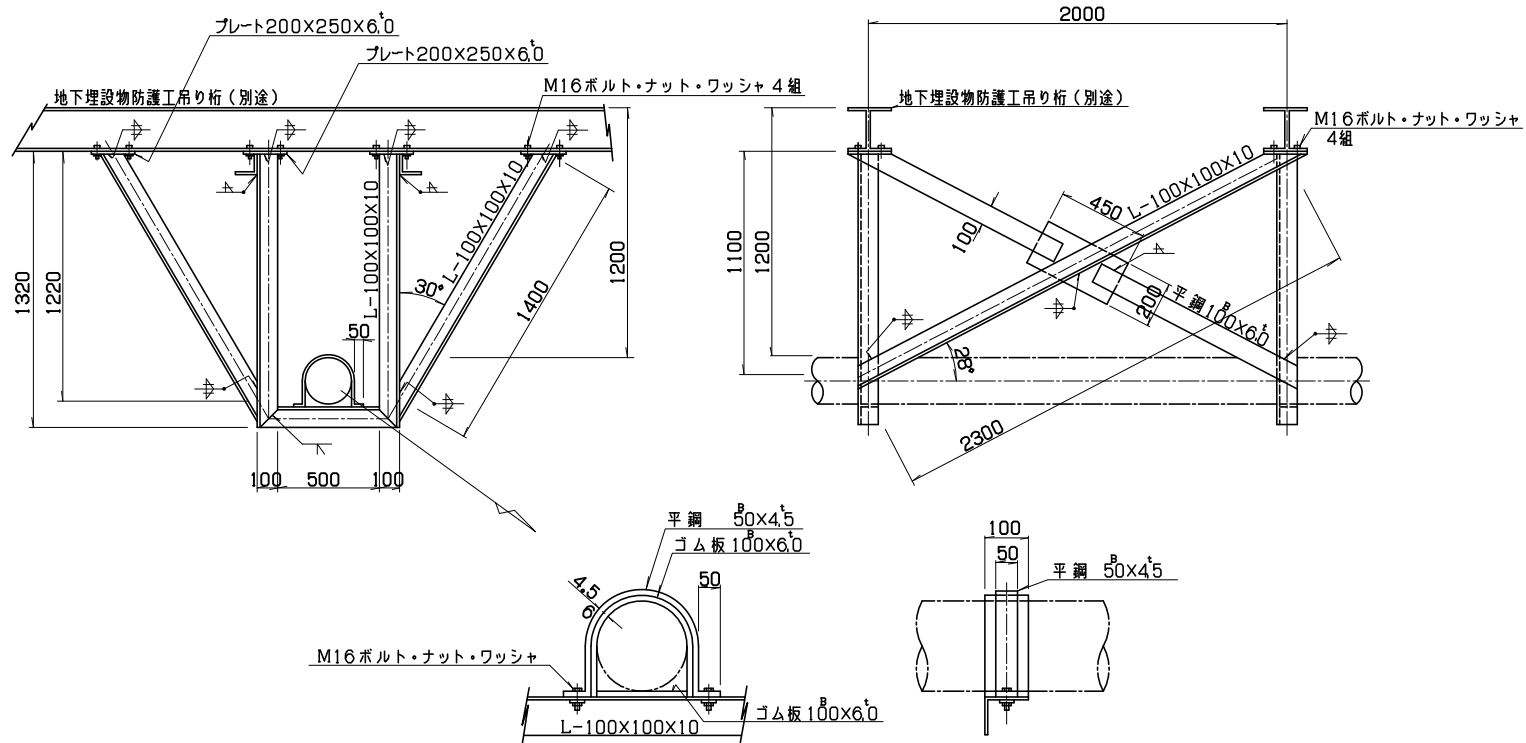
A型つり支持具（単位mm）



- 備考
1. つりけた、ターンバックル、つり支持具、受けけたに使用する材料については地下埋設物管理者の承認を得ること。
 2. 導管が露出した時点でただちにつり支持すること。
 3. 各つり支持具の張力は均一になるように調整すること。
 4. つり支持具と導管の接合部（溶接によって接合されているものを除く）とは接合部を補修出来る間隔をとること。
 5. 取出管との接合部及びプラグヶ所は直接つり支持しないこと。
 6. 本図は参考図であり、使用にあたっては各地下埋設物管理者と協議し決定すること。

地下埋設物防護工（その2）

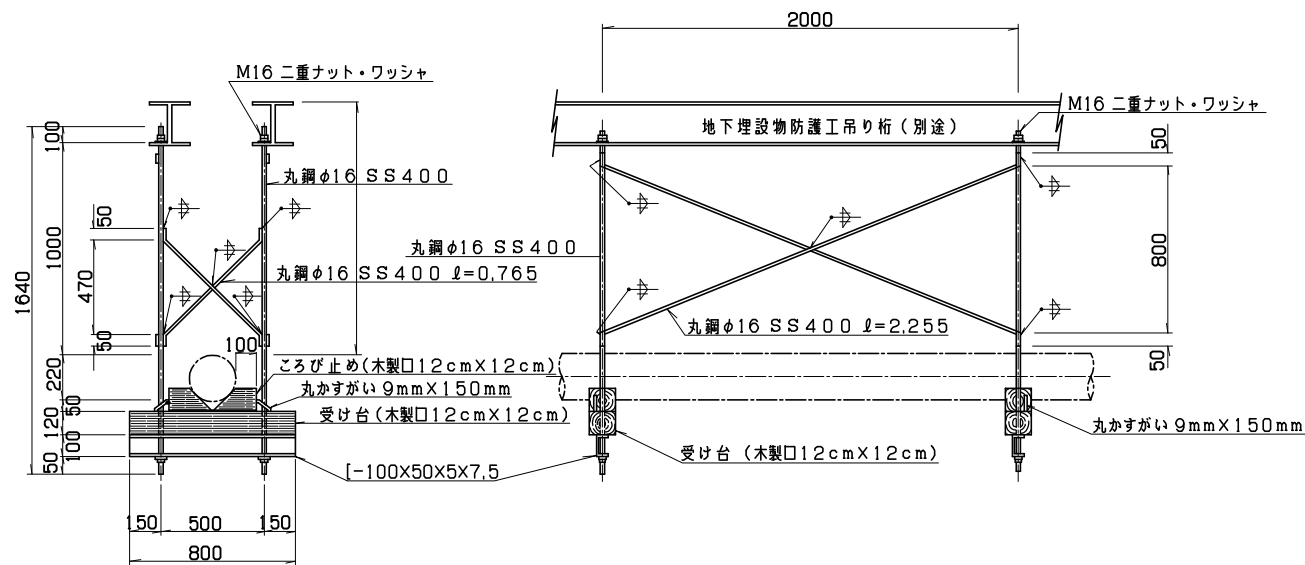
B型つり支持具（単位mm）



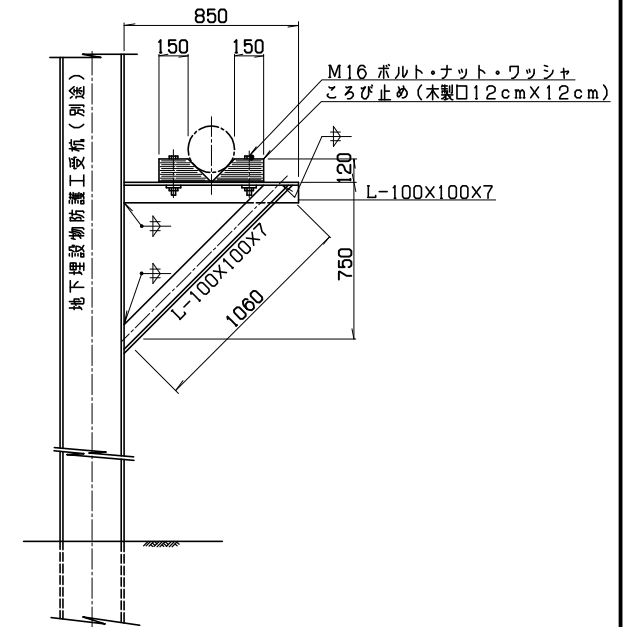
1. つり支持具使用の場合及び使用材料はA型つり支持具の備考の通りとする。
2. 受け支持具はつり支持具をとりはずす前に設置すること。
3. 受け支持具は堅固に基礎に固定すること。
4. 受けはりは受け支持具又は、つり支持具に堅固に取りつける。

5. 受け支持具の支持部と導管の接合部（溶接によって接合されているものを除く）とは接合部を補修出来る間隔をとること。
6. 取出管との接合部及びプラグケ所は直接受け支持しないこと。
7. 受けはりの幅は導管の外径以上であること。
8. 本図は参考図であり、使用にあたっては各地下埋設物管理者と協議し決定すること。

C型つり支持具



C型受け支持具

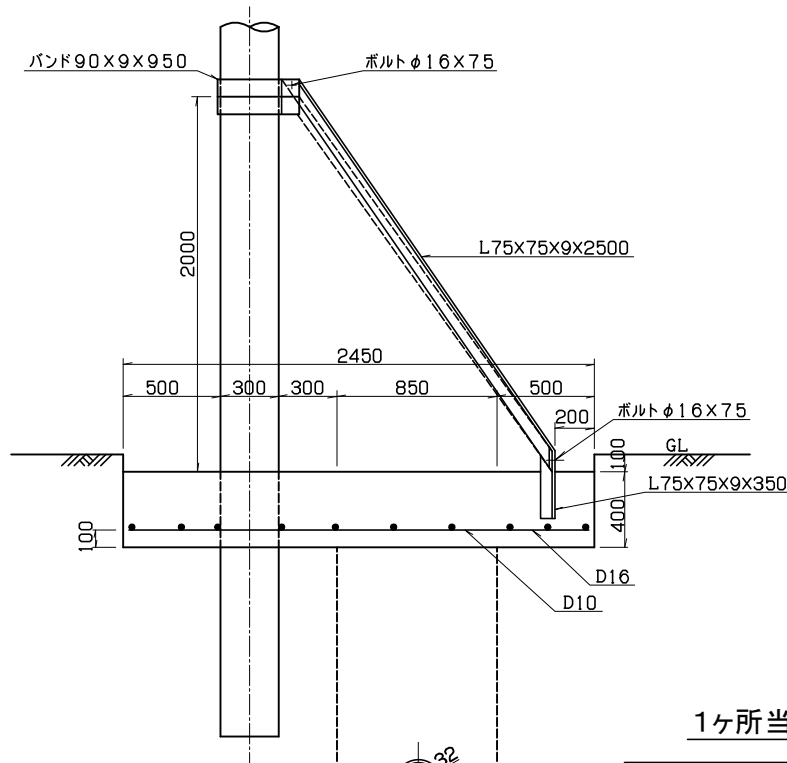


1. つり支持具使用の場合及び使用材料はA型つり支持具の備考の通りとする。
2. 受け支持具はつり支持具をとりはずす前に設置すること。
3. 受け支持具は堅固に基礎に固定すること。
4. 受けはりは受け支持具又は、つり支持具に堅固に取りつける。

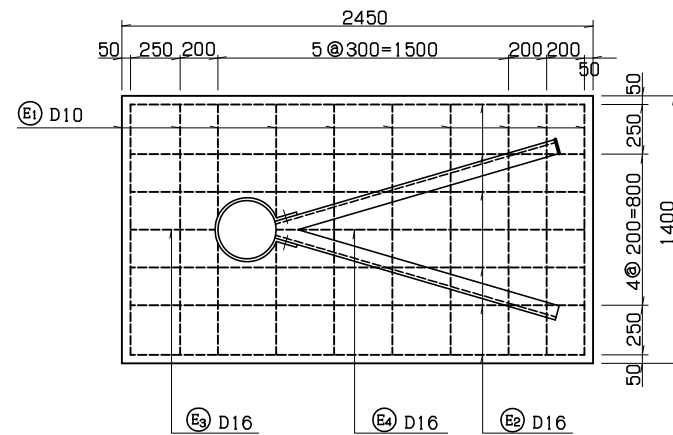
5. 受け支持具の支持部と導管の接合部（溶接によって接合されているものを除く）とは接合部を補修出来る間隔をとること。
6. 取出管との接合部及びプラグゲ所は直接受け支持しないこと。
7. 受けはりの幅は導管の外径以上であること。
8. 本図は参考図であり、使用にあたっては各地埋設物管理者と協議し決定すること。

電柱防護標準図（その1）

A型電柱防護図（単位mm）



平面図



1ヶ所当り鉄筋表

符号	径	長さ m	本数	延長 m
Ⓔ ₁	D10	1300	10	13.000
Ⓔ ₂	D16	2350	6	14.100
Ⓔ ₃	D16	450	1	450
Ⓔ ₄	D16	1600	1	1.600
				総延長 D10-13.00m D16-16.15m
総重量				13.00x0.56+16.15x1.56=3.247kg

1ヶ所当り材料表

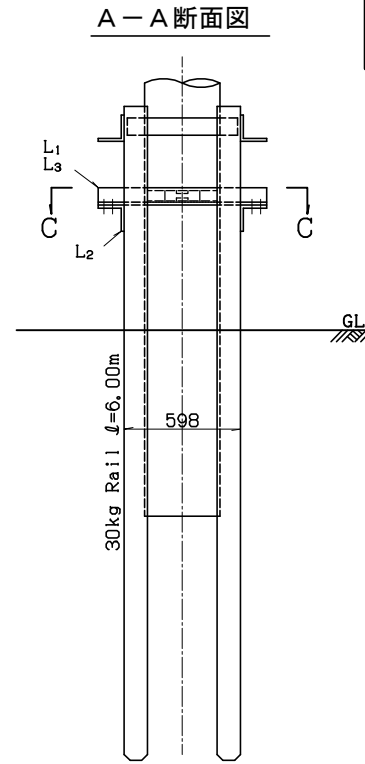
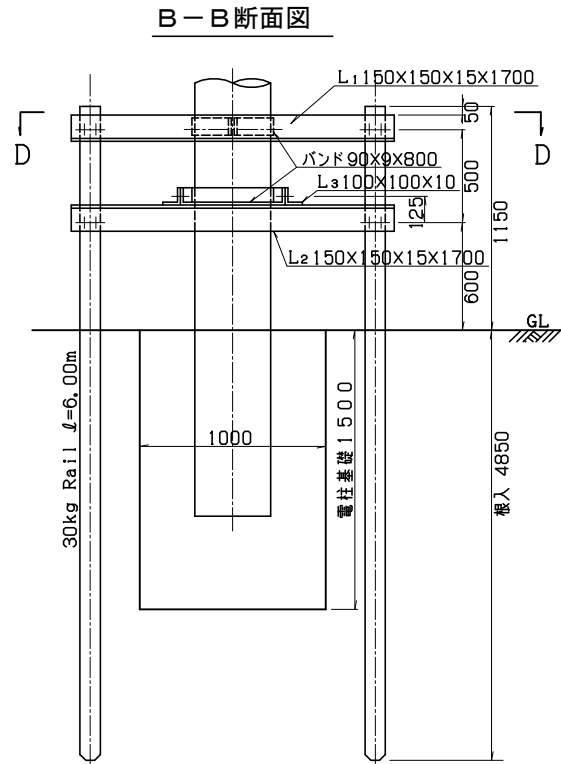
名称	単位	数量	摘要
型枠	m ²	3.08	基礎用
コンクリート	m ³	1.34	21-8-40
等辺山形鋼	kg	56.77	L75x75x9x57m
鋼板	kg	12.08	90x9x19m
ボルトナット組		4	φ16x75x4

注 1) 使用区分は(その2)に記す。

2) 本図は参考図であり、使用にあたっては各地下埋設物管理者と協議し決定すること。

電柱防護標準図 (その2)

B型電柱防護図 (単位mm)



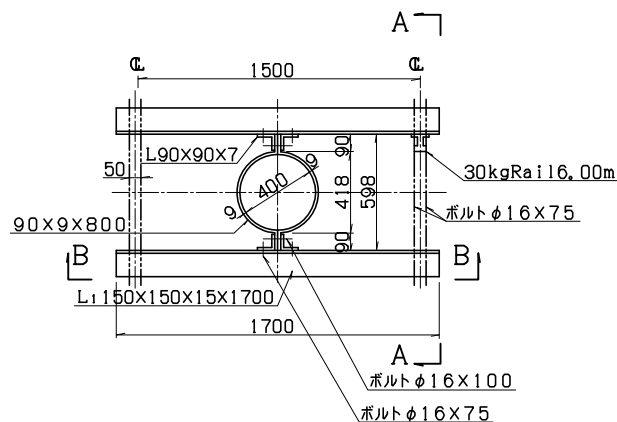
使用区分

2分勾配の堀削影響線内に電柱がある場合で次の区分により使用すること。

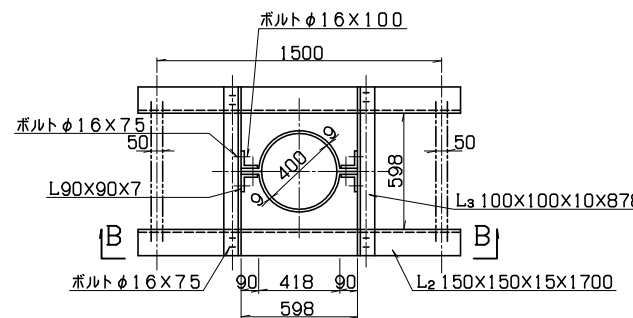
A型：電柱が民地に接近し又はレール打ちの振動等により地下埋設物に影響がある場合に使用。

B型：上記以外のヶ所に使用。

D-D断面図



C-C断面図



1ヶ所当り材料表

名称	寸法	数量
レール	30kg $\phi=6.00m$	4本
鋼板	90×9×800 (バンド)	4枚
等辺山形鋼	L ₁ L ₂ 150×150×15×1700	4枚
〃	L ₃ 100×100×10×878	2枚
〃	L80×90×7×90	8枚
ボルト	$\phi 16 \times 75$	24本
〃	$\phi 16 \times 100$	4本

注) 本図は参考図であり、使用にあたっては各地下埋設物管理者と協議し決定すること。